

運河ルネサンスによる取組（品川浦・天王洲地区）

＜令和3年度＞

① TENNOZ PIER（天王洲ピア） 所有者：中川特殊鋼(株)



天王洲ピア

平成 25 年 10 月に天王洲運河に設置されたビジター棧橋である。屋形船等による運河や港内クルーズ等の発着場所として活用されている他、棧橋をステージに見立てたアート作品の展示や雅楽の上演等のイベントも行っている。棧橋を利用した水辺の賑わいの創出を考えるとともに、地域の活性化につながる場となっている。

② 天王洲水門、天王洲セントラルタワーのライトアップ



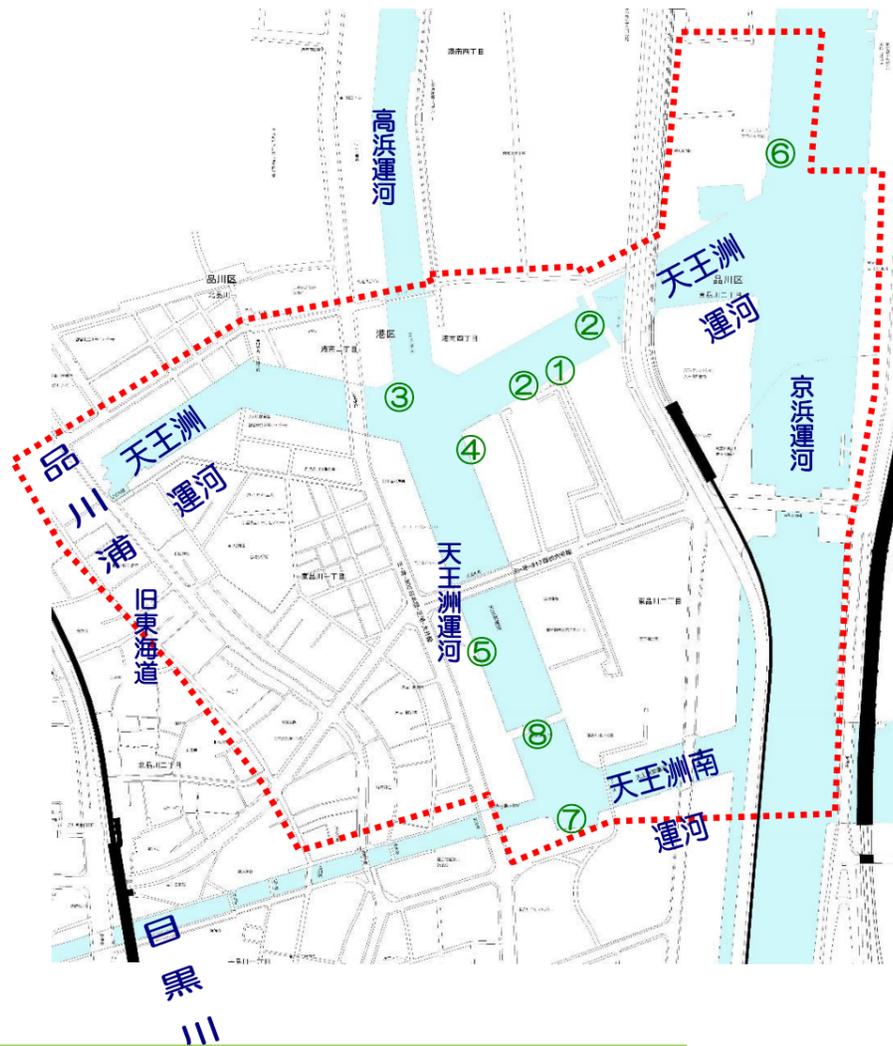
天王洲水門



天王洲セントラルタワー

天王洲地区にてライトアップを行っている天王洲水門と天王洲セントラルタワー（中川特殊鋼株式会社）は、新型コロナウイルス感染拡大防止に向け、医療関係者等へ感謝の意を示すため、ライトブルーに点灯した。

※なお、情勢によっては管理灯以外は消灯している



⑧ 目黒川水門



目黒川水門

運河の景観向上を目指し目黒川水門の描き替えを提案。舟運観光にも役立っている。これを機に「しながわ運河まつり」が始まった。

※令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大を受け中止

⑦ 東品川海上公園仮設棧橋 所有者：NPO 法人東海道品川宿

平成 21 年 8 月に NPO 法人東海道品川宿が設置した仮設棧橋。E ボートの体験やイベント時の運河クルーズの発着として活用している。勝島地区の会員とも協力して体験会等を行っている。



東品川海上公園仮設棧橋

③ 運河安全航行の横断幕を設置 設置者：品川浦・天王洲地区運河ルネサンス協議会

平成 19 年 2 月に、運河ルネサンス協議会が安全航行の啓蒙のため設置し、維持管理を行っている。横断幕については平成 28 年度に更新を行った。



横断幕設置箇所



更新した横断幕



更新した横断幕のデザイン

④ 水上レストラン・ビジター棧橋・移動型多目的施設（WL2） 所有者：寺田倉庫

平成 18 年 2 月に、運河ルネサンスの規制緩和の第 1 号として水上レストランとビジター棧橋（WL1）を設置。平成 27 年度に、移動型多目的施設 WaterLine2、地元水域利用者が使える棧橋を設置。平成 28 年度から棧橋のプレ運用を開始し、令和 3 年度は、水辺を生かしたイベント「キャナルアートモメント品川 2021」を実施した。隣接の移動型の多目的施設（4 つ）についても、イベント時に使用している。



WL2 棧橋



イベントの様子

⑤ 天王洲ヤマツピア 所有者：(株)天王洲ヤマツピア

平成 18 年 7 月に、ウェディング棧橋として設置。結婚式などのパーティークルーズ等の実績がある。レストランで食事した後に利用するクルーズや、目黒川お花見クルーズの発着場所としても活用されている。



天王洲ヤマツピア

⑥ マリンステーション（棧橋） 所有者：ワールドシティータワーズ

平成 24 年 7 月に、運河ルネサンスの棧橋として追加。チャータークルーズの乗降棧橋として住民等が活用している。



ワールドシティータワーズ棧橋

品川浦・天王洲地区 運河ルネサンス協議会

- 【協議会の活動】
H17.4 協議会設立
H17.6 推進地区指定
H24.7 運河ルネサンス地区の拡大